

トピックス topics

第25号  
H23. 8

京 都	農	業	会	議
	だ	よ	り	
発行 京都府農業会議 〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 Tel:075(441)3660				

- p 1 ◆第21回農業委員統一選挙  
女性も躍進、44人に
- p 2 ◆京都モデルファーム運動を展開  
◆支援員を紹介します③
- p 3 ◆東日本大震災 広がる支援の輪  
◆頼れる“法人化請負人”が活動開始
- p 4 ◆常任会議だより ほか

第21回農業委員統一選挙

新委員409人が誕生

— 女性も躍進、44人に —

7月19日で任期満了を迎えた農業委員の改選が府内19の市町村で行われ、新たに409人の農業委員が決まりました。

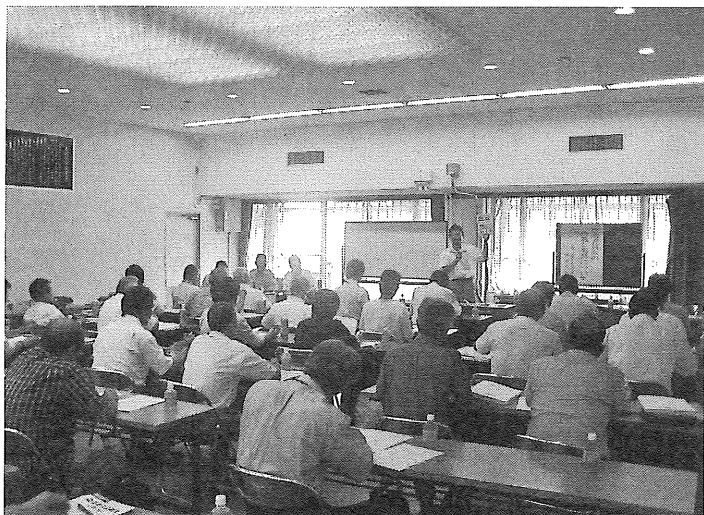
今回の選挙では、女性農業委員の拡大が全国的なテーマの一つとしてあげられています。京都では5つの委員会での女性の立候補があったことに加え、選挙に併せて進められた市町村議会の推薦枠でも、12市町村で女性委員が選任されました。これにより、京都府内全体で女性農業委員数は44人と前進する結果となりました。

ほとんどの農業委員会では7月中旬に初総会が開かれ、役員等が決められ、新体制で業務が始まっています。

各委員会

で 新任委員研修会

第21回農業委員選挙で選ばれた新任農業委員の研修がそれぞれの農業委員会で開催されています。研修会では農地法や農業経営基盤強化促進法はじめ法令業務に必要な基礎知識をはじめ、農政問題、農地税制のほか、担い手対策や遊休農地の発生防止といった地域農業が抱える問題にどう対処するかなど、地域の課題に応じた幅広いテーマを交えた内容になっています。



8月5日には乙訓地域農業委員会協議会の主催で向日市、長岡京市、大山崎町の3委員会合同の研修会が開かれ37名の新任委員が出席しました。

# 「地域の農地と担い手を

## 守り活かす運動」の推進を

### 主要課題は「1委員会1モデルづくり」

農業会議と農業委員会は、昭和60年度から取り組んできた「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」を、今年度から全国運動と同じ「地域の農地と担い手を守り活かす運動」に改名し、取り組むこととなりました。

運動の主な内容の一つは、「遊休農地パトロール」(利用状況調査)

と過去の農地法許可案件を追跡する「総点検パトロール」の2つのパトロールの実施、二つは遊休農地の発生防止・解消のモデルを1委員会あたり、1モデル以上つくることです。この運動を通じて、地域の課題に応える農業委員会活動の展開をお願いします。

## TPP交渉参加反対1千万署名全国運動に参画

昨年11月に政府がTPP(環太平洋経済連携協定)について「関係国との協議を開始する」と決定したことを受け、交渉への参加を断固反対する署名運動が全国の農業団体で展開されてきました。

農業委員会系統組織も12月に開かれた「全国農業委員会会長代表者集会」につづいて、5月26日の「全国農業委員会会長大会」でも要請決議を行ったほか、全国農業会議所の呼びかけで、2月から反対署名運動に

取り組みできました。京都府内では全26委員会から13,385人分(農業会議分も含む)の署名が寄せられました。

農業委員会系統組織全体では、59万5千人、農業団体全体では、1,120万人の署名が集まり、全国の声が国に届けられました。農業委員会系統組織としては、今後も引き続き取り組みを進めることとしていきます。

## 京都府農業会議 京都モデルファーム運動を展開

農村で担い手不足が深刻化する中、京都府農業会議は今年度から「京都モデルファーム運動」に取り組むこととなりました。この運動は、担い手がいないため、地元地域だけでは管理できなくなった農地を地域外の力を借りて保全・活用しようというもので、例えば、農外の企業・団体や都市住民などと協定書を交わし、協力を得ていこうというものです。

今年度は、府内3カ所以上でモデルファームの開設をめざします。開設には、地権者はもとより、地



府内第1号として誕生したモデルファーム (4月 精華町にて)

## 支援員を紹介します 3

長澤 幸男 さん



農地相談センターの支援員として、南丹・中丹地域を担当し、各市町の農政課や農業委員会等、現場を巡回させていただいております。特に農地制度が改正されて以降、

業務が増加して、お忙しい中、いろいろとお話をお聞きし、お邪魔かと思っておりますが、センターとのパイプ役として、情報をつなぎ、少しでも問題の解決や手助けが出来ればと考えております。高齢化や米価下落、その上、獣害などで遊休農地が増えているのが現状ですが、こんなときだからこそ、いかに遊休農地を少なくするかという問題に向き合い、対策を考えることが町づくりにつながっていくと思っております。

# 東日本大震災

# 広がる支援の輪

## 全農業委員会で義援金

東日本大震災の復興に向け、農業委員会系統組織で取り組まれた募金活動では京都府内26すべての農業委員会から義援金が集まり、その額は150万円となりました。

なお、全国で集められた義援金は7,350万円にのぼり、全国農業会議所を通じて、農業関係で被災された方を中心に被災地へ送られました。

## 南丹市農業委員会が

### ボランティアに

南丹市農業委員会は、農業委員の有志6人が6月28～30日にかけて、福島県会津美里町の避難所を訪れ、京都丹波地域ならではの食材を使った食事を提供するボランティア活動を行いました。



市役所での出発式を終え、東北へ出発する委員一同

この活動は、全農業委員の協力によって実現したものです。

食材費などの必要経費は他の委員からの寄付によって賄われたほか、肉牛肥育を行っている農業委員からは食肉が食材として提供されるなど、まさに、農業委員会挙げての取り組みです。

## 集落営農組織・認定農業者を巡回訪問

# 頼れる「法人化請負人」が活動開始

府内の意欲ある農業者や集落営農の法人化を支援するため、農業会議は今年度から、4名の「法人化請負人」を配置しました。

「請負人」は、税理士など税務・会計のプロ。

法人化をめざす農業者の相談にのりながら課題解決を支援し、経営改善から法人設立までを継続的にサポートします。

また、法人化に関するアドバイスのほか、農商工連携や人材確保などの課題も含めた「よろず相談」を受けます。

すでに経営の飛躍をめざす農業者から農業会議へ直接、問い合わせがあったり、市町村や普及センターなどから派遣要請があり、京都市、亀岡市をはじめ府内各地で現地巡回が始まっています。

巡回を受けた農業者や集落営農組織からは「個別に繰り返し、指導が受けられ、わからないことも納得いくまで丁寧に教えてもらえる」とたいへん好評です。

**私たちが法人化に向けた課題解決を支援します!**



高岡 政義  
(中丹・丹後担当)



井本 篤志  
(中丹・丹後担当)



井上 貴晴  
(京都乙訓・南丹担当)



鹿野 衛一  
(京都乙訓・山城担当)

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第351回常任会議(1月26日)

協議

- ①「第21回農業委員統一選挙に向けての基本的な考え方」(案)について
- ②「TPP交渉参加反対署名運動」実施要領(案)について

報告

- ①農業委員会・農業会議に係る国の平成23年度予算案について

第352回常任会議(2月23日)

審議

- ①農業経営基盤強化促進法に基づく意見照会案件について

協議

- ①平成23年度京都府農業会議事業計画案について
- ②第103回総会の運営と提出議案について

報告

- ①「京都府農林水産振興基本計画(仮称)」中間案について
- ②平成23年度京都府農林水産関係予算案について

第353回常任会議(3月24日)

協議

- ①「京都府農業会議事務局設置規定」の一部改正について
- ②第103回総会の運営について

第354回常任会議(4月27日)

第355回常任会議(5月25日)

報告

- ①「第2次京都府食育推進計画」について
- ②京都府農地相談センターの活動状況と課題について

第356回常任会議(6月23日)

協議

- ①「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の推進について
- ②平成24年度京都府農林施策への提案について

報告

- ①平成23年度京都府農林関係5月補正予算及び6月補正予算案の概要について
- ②林業大学校について

第357回常任会議(7月13日)

協議

- ①第104回総会の運営と提出議案について

- ②平成24年度京都府農林施策への提案について

【農地法諮問案件の審議件数】

(1~7月)

第4条	40件	26,307㎡
第5条	143件	141,126㎡
計	183件	167,433㎡

【会議員現地調査9件】

- 1月12日(宇治市)、1月13日(福知山市)、2月8日(京丹後市)、4月13日(八幡市)、4月18日(与謝野町)、5月16日(舞鶴市)、6月16日(福知山市)、7月11日(京丹後市)、8月11日(城陽市)

会議・研修会等の開催

【農業委員会関係】

- 農業委員会研修・交流会
- 丹後ブロック……………2月2日
- 南丹・中丹ブロック……………2月22日
- 山城南ブロック……………3月2日
- 役員監査委員会……………2月21日
- 農業委員会事務局長会議
- 及び研修会……………2月28日
- きょうと女性農業委員の会
- 総会……………3月1日
- 農業委員会広報研修会……………2月25日
- 専門員会議……………3月1日
- 第103回総会……………3月24日

- 京都モデルファーム運動
- 第1号協定調印式……………4月29日
- 農業委員会会長・局長会議……………6月14日
- 役員等会議……………7月6日

【担い手育成・支援関係】

- 農業簿記・パソコン農業簿記講座
- 京都乙訓・南丹地域
- ……………2月1~2日、25日
- 丹後・中丹地域……………1月26~27日
- 集落型農業法人の設立講座
- ……………2月4日(第5回)

- 集落営農会計セミナー……………2月24日
- 地域農場づくり推進大会……………3月14日
- 担い手協議会総会……………3月23日

【農の雇用事業】

- 研修生研修・交流会 (3月30日)
- 農の雇用事業応募説明会(5月26日)
- 「農の雇用事業」研修生事業説明会
- (南部⇨12月21日、北部⇨同22日)

【田舎ぐらし関係】

- 「命の里々等農村集落」と「都市の企業・団体」とのマッチング会
- ……………2月24日
- 田舎ぐらし現地見学ツアー
- ……………3月5日